

広島を賑わす
まちづくり

弁当

3

可部カラスの会

可部のまちが大好きで、可部のまちをもっともと素晴らしいまちにしていきたいと、各種の活動を行っています。可部のまちづくりへつながる様々な市民活動・環境、文化、街づくり、人づくり…

活動の源(たまご)は
自由な発想

ほうびはリンゴの
ウサギさん
これからも元気一杯
跳びはねます

手と手をつないだ
たこさんウインナー
たこさんの力を持ち寄り
つながるまちづくり

弁当の主役は
ハンバーグ
活動テーマは
人紡ぎ・
夢描き・
まち創る

ごはんをむすんで
おむすびに
人を結んで夢紡ぐ

みんなが楽しく
食べるんじや
おかんの運動会弁当

可部カラスの会

まちづくり市民グループ「可部カラスの会」

活動分野:まちづくり・環境

発足年:平成9年(1994年)

連絡先 〒731-0232 安佐北区亀山南二丁目1-3 事務局長 寺本 克彦

電話(FAX) 082-814-0162

E-mail karasu@ms9.megaegg.ne.jp URL <http://www.megaegg.ne.jp/~kabekarasu/>

カラスの誕生のいきさつ
平成8年に実施された市の事業が、ベースになっていました。可部のまち探検を行い、報告書を作り、まちの散策マップを作ったりしました。その後、事業は終了しましたが、解散するのとはもったいないと有志が集まったのが始まりです。

活動源のたまご

会費もなければ会則もない。そんな自由度の高さが10年以上の活動の原動力です。自由な環境で、可部を愛し、誇りに思い、住んで良く訪ねて良いまちづくりを目指して智恵と汗を出し、飲み会を愛する多才な集団、可部カラスの会。自由な雰囲気の中から生まれるアイデアの卵を大切に、どう料理するかがメンバーの腕の見せ所、弁当の見せ場です。



弁当の主役ハンバーグ

カラス特製弁当は、原則、美味しいものなら何を入れても自由ですが、それは弁当の主役がドンとあつてこそ。

決まりごとの嫌いなカラス達の活動を引っ張るのは熱き想いを一言で言い表した活動のテーマです。様々な思いをかきまぜ、こんがり焼き上げると誰もが一目置くハンバーグのような存在です。会費も会則もない自由度の高

さが自慢の会ですが、皆で決めたテーマを運動会弁当のハンバーグのようにどんと中心に据えています。
ちなみに平成19年度年間テーマは、『これまでのまちづくり活動を基盤として、明日の可部まちづくりの道標を樹立しよう。』です。

たこさんウインナー

おすすめポイントは小さな力が結集していること。たこさんウインナーの足は小さいですが、集まればおいしさを発揮します。会員それぞれが自分の考えを持ち、議論して方向性や活動の内容を決めて活動を行っています。これからの時代、個人が責任と自覚を持ち、それが結びあい、様々な力となり、社会を支えていく、『ソーシャルキャピタル社会関係資本』が求められます。個々の力は小さなものですが、それが結びつくことによって大きな力となり、個々も光輝きます。そんな社会創りを、この可部のまちから発信していきたいと考えています。

カラスはむすび

カラスの役割は、「人・心・紡ぐ・夢・描く」こと。

たくさんの人と人の心をつなげるので、お弁当のたくさんのおむすびとして表現しました。

「人・心・紡ぐ」ために、カラスは、市民の団体として住民と行政の調整、住民市民の結束、手助けに参加できるボランティア、弱者支援、生涯ボランティア、住民の結束力の強化、といったまちづくりの黒子という役割

広島を賑わす
まちづくり

弁当たち 4

可部夢街道まちづくりの会

おいしいものが行き交う炊き込みごはん 街道交易の幸 釜飯弁当

可部の町は、古くから街道の宿場町として、物が行き交い、商業が栄えた町です。地元のもの、遠い町から来たものが出会って、具材豊富な炊き込みご飯ができました。

可部夢街道まちづくりの会

ゆかりの材料を
炊き込み仕上げた
五右衛門風呂型釜飯
可部にゆかりの
ポンプ・かしの木

年に一度のまちめぐり
川ガニ、アユでおもてなし
街道賑わい 夢めぐり

弁当彩るひろしま菜漬け
街道彩るかよこの嫁入り

色よく、軽く
丈夫な山まゆ織り
古き良きもの
保存・再生

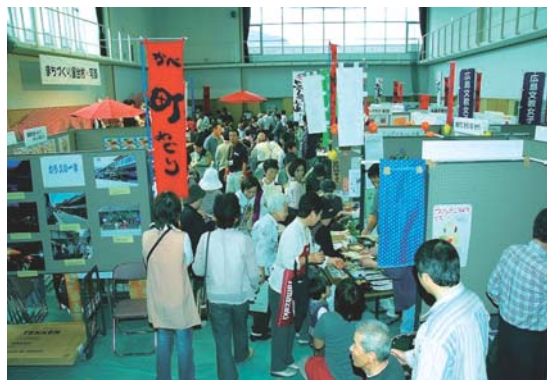


可部夢街道まちづくりの会

活動分野:まちづくり

発足年:平成15年(2003年)

HP <http://ww7.enjoy.ne.jp/~obara0420/>



を担います。また、「夢を描く」ために、住民サイドからのまちづくりのオピニオンリーダー、ローカルシンクタンク、まちのデザイン提案、可部全体のまちおこし団体として、住みよいまちづくりへの取り組みを担おうと考えています。結成10周年となる平成19年の会のコンセプトは「紡ぐ」。このテーマで「まちづくり屋台村」可部を開催しました。

その呼びかけのチラシには「まちづくりは市民が主役の時代」と力強く書きました。そして、「10年前を振り返ると、まちづくりは行政がやるもの、住民の意見を聞いても計画に修正を加え

る程度でした。しかし、そうしてできた町は、画一的でどこに行っても同じ様な町並みばかり。人情物語など町が内に秘めている魅力は影を潜めてしまいました。個性のない町は人情のない町、そんな町にはしたくないとの想いに賛同する可部地区のまちづくり団体等が一堂に会しゲーム感覚で情報交換を行い、これからの可部のまちや行政との協働について考えるイベントにしたいと思っています。」と書いています。

ほうびはリンゴのウサギさん 主な受賞歴

平成12年度 広島市街づくりデザイン賞、平成13年度 地域づくり団体 総務大臣表彰、平成15年度第21回 まちづくり月間 国土交通大臣表彰を受賞しました。

主な活動内容

■環境部門

①水援隊活動 ②根の谷川クリーンキャンペーン ③根の谷川水質チェックウオーキング & 芋煮会

■まちづくり部門

①トイレは小さな美術館 ②可

部のマンホールプラン ③寺山公園10年間ワークショップ ④可部線各種存続活動

■文化部門

①なつかしい可部の写真展 ②なつかしい可部の写真展 ③残してほしい可部写真展 ④可部のまち案内 ⑤歴史部会活動(高松山研究、昭和初期のまちなみ再現) ⑥郷土資料館開設運動 ⑦可部を唄おう

■ひとづくり部門

①小中学校歴史・郷土学習出前塾 ②公民館講座 老人大学等出前講座

広島を賑わす
まちづくり

弁当たち 4

可部夢街道まちづくりの会

五右衛門風呂型釜飯

平成19年の会の活動を弁当に例えると、やはり五右衛門風呂型釜飯です。

可部駅周辺整備をきっかけに、地元住民の意見を反映させるため広場イメージ作りから活動を始めました。そこでの一番に出てきたイメージが、鑄物のまちにふさわしく五右衛門風呂でした。



そのほか、バス停と駅舎までを結ぶ屋根や、情報掲示ケースに可部の伝統である格子のデザインを取り入れるなどの提案をしました。

この西口広場の一角には住民が寄付を募りモニュメントも設

置しました。このモニュメントにも、可部に縁のあるものをということで鑄物の風呂釜や井戸ポンプ、かしの木が盛り込まれています。

街道交易の恵み

ひろしま菜漬け

平成17年9月、可部街道での歩行者天国を実現させ、横川―祇園―可部を結んだ「かよこの嫁入祭」を開催しました。

横川―祇園は晴天に恵まれたが、可部はスタートと同時に無情の大雨。しかし、参加者はひるむことなく堂々の大行進、繰り出した数千名の沿道の人々とともに、歩行者天国を心行くまで楽しみました。

街道沿いの産物が行き交う可部の街らしく、ひろしま菜もやってきてお弁当を彩ります。



山まゆのふろしき

可部の町は、近世に「鑄物の生産」「酒・醤油の醸造」「牛市の開催」「山まゆ織の商い」などが盛んに行われ、物資の集散地、商業の町、宿場町として栄えた町です。山まゆ蛾の幼虫は、クヌギ、ナ

ラ、カシの葉を食べて「まゆ」を作ることから、山まゆに縁のあるカシの木は駅前のモニュメントにもなっています。

山まゆ織りが盛んだった可部にちなんで、お弁当包みを山まゆ織にしました。

川ガニ・鮎・町めぐり

年に一回、町めぐりのイベントを開催しています。1300人あまりのお客さんが訪れます。可部の良さを知っていただければとの思いから企画しています。

地元町内会の方による名所旧跡の案内もあり、旧家の蔵出しもあり、地元食材の川ガニ・鮎料理ありで賑わいます。

平成19年の町めぐりでは、会が月一回のペースで勉強してきた、町並み保存・再生ルール作りの学習成果を展示・配布しました。

こうした取組の影響なのか、古い町屋の雰囲気を残した改修をすることも出てきました。



発足のいきさつ

平成15年3月頃に「可部駅周辺をバスセンターとして、また、バスとJRをつなぐポイントとして整備したいので、地元の意見を聞き取りして、まとめてもらいたい。」との相談が地元町内会にありました。

可部の街道は良い町並みなのでなんとかしようということで、周辺の町内会長と商工会の6〜7人で相談し、市職員も同行して、まず横川、五日市を視察しました。

当初のメンバーで毎月例会を定期的に開催し活動を始め、平成15年に「可部夢街道まちづくり協議会」を発足させました。平成16年4月に「可部夢街道まちづくりの会」に名称変更し、それまでは町内会長ばかりでしたが、「可部カラスの会」のメンバー5名も入会しました。

その後「かよこバス」が受け皿となりイベントを開催し、活性化していきました。当初の活動であった駅周辺整備は、平成19年12月にほぼ完成となり、平成20年3月末日で事業は完了しました。会のホームページは平成16年11月から開設しています。

